

中山間地域の介護保険 サービスの維持について

高知県

1. 中山間地域とは？

本県の場合、次の地域振興に関する法律（いわゆる地域振興5法）の指定地域に該当するいずれかの地域を示す。

中山間地域

- ・特定農山村法による「特定農山村地域」
- ・山村振興法による「振興山村地域」
- ・過疎地域自立促進特別措置法による「過疎地域」
- ・半島振興法による「半島地域」
- ・離島振興法による「離島地域」

①面積（単位：km ² ）			②人口（単位：人）		
県全体	中山間地域	割合	県全体	中山間地域	割合
7,105	6,546	92.1%	796,292	317,359	39.8%
(参考) ○過疎地域（一部、見なし過疎を含む）の状況					
過疎地域（面積）		割合	過疎地域（人口）		割合
5,408 km ²		76.1%	200,945 人		25.2%
※過疎地域の人口の推移					
【昭和35年】 378,271人		→	【平成17年度】 200,945人		▲177,325人
(44.3%)			(25.2%)		

資料：国勢調査（昭和35年～平成17年）

対象地域

本年1月の春野町と高知市の合併により、34市町村のすべてが中山間地域を含む市町村になった。（11市17町6村）

＜本県の中山間地域＞



■高知県における中山間地域の課題

人口の減少と高齢化の進展

本県は、全国に先行して、過疎化、高齢化が進行。特に、山間部をはじめとする過疎地域での人口の減少と高齢化の進展が著しい。

<人口の減少>

- ・S35年→H17年の人口減少率
854,595人→796,292人(△7%)
- 過疎地域
378,271人→200,945人(△47%)

<高齢化率>

- ・全国平均 20.1%
- ・高知県平均 25.9%(3位)
- ・**過疎地域平均 34.8%**

<産業人口>

- ・農業経営者の平均年齢 62.9歳
- ・林業就労者の平均年齢 54.5歳
- ・農業・林業・漁業人口は、1/3~1/5

<人口減少率の高い市町村> ①大川村86.9% ②北川村75.4% ③旧物部村75.3% ④大豊町69.9%

<高齢化率の高い市町村> ①旧池川町51.0% ②大豊町50.8% ③旧物部村48.0% ④旧吾川村46.7%

その結果

集落機能の維持が困難

小規模の集落が年々増加

- 20世帯未満の集落が557で集落全体(2,360)の23%
- 10世帯未満の集落が191集落。

- ・冠婚葬祭、農作業等の共同作業ができない
- ・水源管理などの生活機能が維持できない

集落の消滅

H18年に国が実施した市町村へのアンケート調査では、消滅可能性のある集落は、195集落

地域活力の衰退

将来の地域を担う若年層が減少

- 15歳以下人口割合12.9% (全国44位)
(昭和37年) (平成18年)
- 小中学校数 701校 → 451校
- 小中学校生徒数 167,624人→64,349人

- ・子どもを中心とした神祭、集落行事など地域コミュニティー活動が停滞
- ・地域の持続性が保たれない

コミュニティーの崩壊

地域の伝統文化はもちろん、地域の存続自体が懸念される

農地、山林の荒廃

高齢化・担い手不足・不在地主の増加

- 農業人口の36.3%は、65歳以上
- 農業経営者の50歳未満 13.3%
- 山林不在村地主の割合が24%

- ・耕作放棄地の増加、経営面積の減少
- ・山林の荒廃

国土資源の消滅

水源が確保できない。食糧が供給できない
(耕作放棄地面積 12,410ha) 保水力の低下による渇水、大型の水害の増加
自然環境の悪化